文京区立図書館要覧

昭和61年版

鷗外記念本郷図書館

小石川図書館

小石川図書館千石分館

本駒込図書館

真砂図書館

真砂図書館湯島分館

水道端図書館

目白台図書館

文京区立真砂図書館
☎3815-6801
201073265
K101

はじめに

図書館は、情報化社会、高齢化社会といわれる今日、区民の一人ひとりが充実した生活を送るための「生涯学習」の場として、また気軽に楽しめる「オアシス」として、欠くことのできない施設です。

文京区においては“文化の香り高いまちづくり”を目標に、地域に根ざした図書館を設置することに努め、現在、地区館６館と分館２館で運営しています。また、図書館１館当りの担当面積や人口、そして区民一人当りの図書館予算、貸出数、登録率等でも明らかなように、23区でもトップクラスにあります。しかし、各地区館が並列的・独立的な運営を行う現行制度は、図書館サービスをより効率的に充実させるうえで改善の必要が生じてきました。

このため、昭和60年５月、「文京区立図書館のあり方検討委員会」を設置し、サービスのあり方、組織のあり方について検討を行い、昭和61年10月、“中心館制度”を柱とする最終報告に至りました。現在、最終報告に基づき、中心館制度移行に向け準備を進めています。

このように、常に区民に親しまれる図書館を目指して努力を続けて参りたいと考えています。

本書は、文京区立図書館の案内及び昭和60年度の事業実績を中心にまとめたものです。文京区の図書館行政をご理解いただく一助として、ご活用いただければ幸いです。

今後とも、図書館に対し一層のご指導、ご協力を、お願いいたします。

文京区立図書館広報委員会
担当．小石川図書館長　小松壽博

目　　次

Ⅰ．文京区の人口……1

Ⅱ．文京区教育委員会事務局等の組織……2

Ⅲ．文京区立図書館職員構成……3

Ⅳ．文京区立図書館年表……4

Ⅴ．事業報告……6

1．蔵書及び貸出数の状況……6

2．昭和60年度貸出状況及び登録者数……7

3．昭和60年度分野別蔵書構成比表……8

4．昭和60年度行事一覧……10

5．昭和60年度リクエスト処理状況……11

6．昭和60年度資料購入数……12

7．昭和61年度予算……12

Ⅵ．各施設案内

文京区立図書館所在図……13

鷗外記念本郷図書館……14

小石川図書館……16

小石川図書館千石分館……18

本駒込図書館……20

真砂図書館……22

真砂図書館湯島分館……24

水道端図書館……26

目白台図書館……28

Ⅶ．図書館部会等活動状況……31

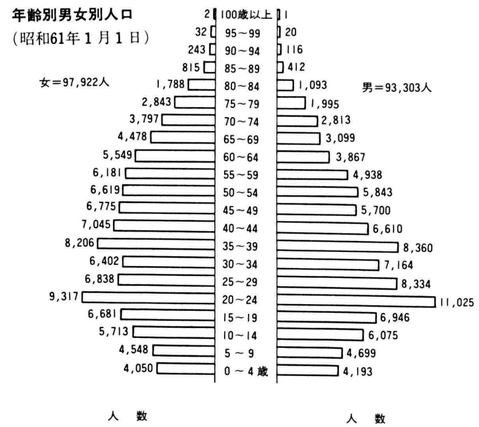
一般部会、児童部会、視聴覚部会、広報委員会、資料委員会、
地域資料委員会、障害者サービス検討委員会、電算委員会、
文京区立図書館のあり方検討委員会、別表

Ⅰ．文京区の人口

文京区は、東京都の区部（23区）のほぼ中心部に位置し、俗にいわれる「山の手」の一角にあり、面積は、11.44 km²で、23区中20番目になります。人口は、戦後最大値である昭和38年の253,336人をピークに減少を続け、昭和50年には20万人を割りましたが、ここ数年は微減傾向で推移し、昭和62年1月1日現在189,811人となっています。また平均世帯人員は2.2人で、都全体の2.6人や区部の2.5人より少なくなっています。これは、都心区に共通の特徴ですが、核家族化の進行とともに、文京区の場合は、学生寮などの多いことがその背景となっています。

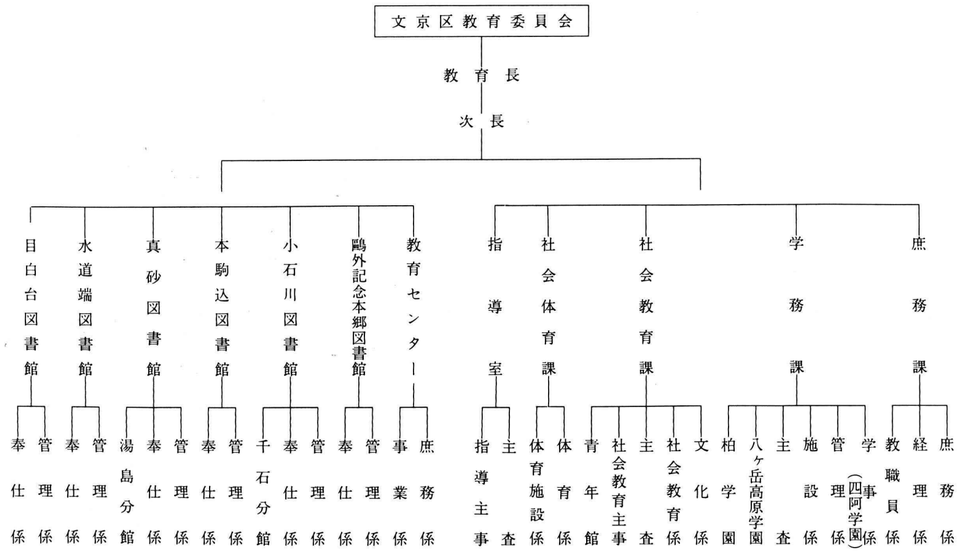
文京区の年少人口（0～14歳）は、昭和33年には55,962人であったものが、昭和62年1月1日現在では28,066人となっています。この数は、年少人口比率で表わすと、14.8%であり、国が21.5%、都が18.0%であるのに対し、低い割合にあります。

また老年人口（65歳以上）においても、その比率は、12.7%であり、国の10.3%、都の9.1%と比べ、高い割合を示しています。



II．文京区教育委員会事務局等の組織

昭和62年１月１日現在



III．文京区立図書館職員構成

昭和62年１月１日現在

館名 / 内訳	本郷図書館	鴎外記念	小石川図書館			本駒込図書館		真砂図書館			水道端図書館		目白台図書館		計
係名	管理係	奉仕係	管理係	奉仕係	千石分館	管理係	奉仕係	管理係	奉仕係	湯島分館	管理係	奉仕係	管理係	奉仕係	
館長	1		1			1		1			1		1		6
係長（主査含む）	1	1	1	(1) 1	1	2	1	1	1	1	1	(1) 2	1	1	(2) 16
事務	2	(4) 8	2	(5) 16	(2) 3	1	(9) 12	2	(4) 13	(2) 4	2	(8) 12	(1) 2	(5) 9	(40) 88
技術	1		1								1				3
用務	1		1			1		1			1				5
小計	6	(4) 9	6	(6) 17	(2) 4	5	(9) 13	5	(4) 14	(2) 5	6	(9) 14	(1) 4	(5) 10	—
合計	(4) 15		(8) 27			(9) 18		(6) 24			(9) 20		(6) 14		(42) 118

（　）は司書（補）有資格者数（内数）
非常勤職員は除く

Ⅳ．文京区立図書館年表（1910～1986）

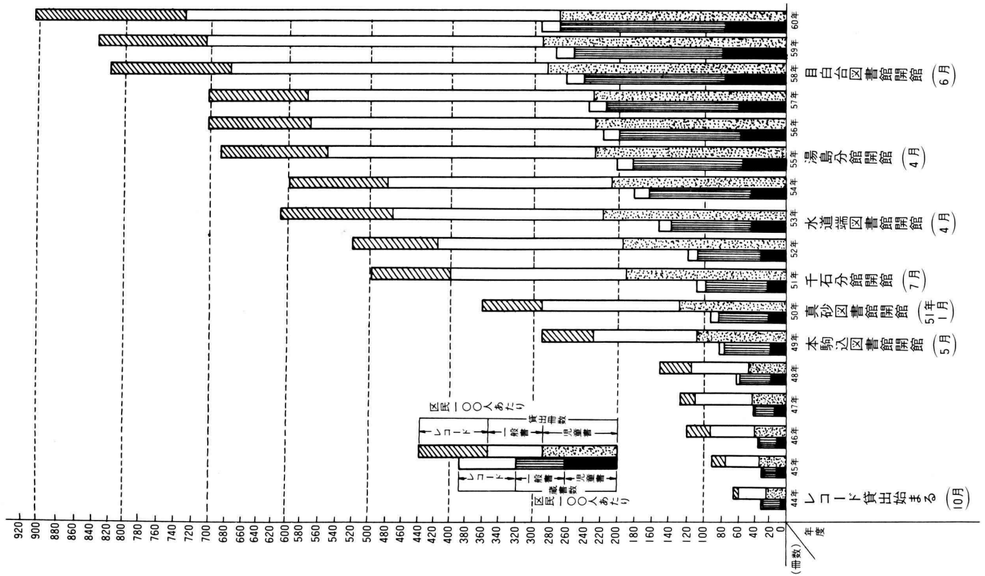
※印は実施月が不明のもの

年　月	事　項
明治43年 8 月 （1910）	東京市立小石川簡易図書館（小石川区竹早町109 現在の竹早公園内　小石川尋常高等小学校内） 東京市立本郷簡易図書館（本郷区東片町17　現在の向丘一丁目　本郷尋常高等小学校内）設置認可
11月	市立小石川・本郷簡易図書館　閲覧開始
昭和22年11月 （1947）	東京都文京区立小石川図書館設立認可（区立窪町小学校内　蔵書は旧月島図書館の蔵書の一部） 閲覧開始　開館時間　午後１時～７時（有料）蔵書3500冊　職員４名
昭和25年10月 （1950）	都立本郷図書館　文京区に移管され文京区立本郷図書館として発足。開館時間　午後１時～７時（有料）
昭和26年 4 月 （1951）	図書館法施行（同法17条）により閲覧料無料となる。
7 月	小石川図書館　文京区竹早町110番地（現小石川五丁目９番 現在地）に新館落成
8 月	新館に移転 小石川図書館　夏期巡回子ども図書館はじまる。小石川・本郷地区各９カ所を巡回(地元の婦人会、母の会の協力で１カ所３日間)
9 月	閲覧、館外貸出、団体貸出開始
昭和29年 5 月 （1954）	小石川図書館　出張所文庫を開設（小石川地区・本郷地区各４カ所）貸出文庫を置く。
昭和30年 4 月 （1955）	開館時間を延長　午前10時～午後８時（小石川・本郷） 小石川・本郷両館の相互貸出を実施（除く、小説・学習参考書・各種辞事典）
昭和34年 7 月 （1959）８月	文京区立図書館報　復刊第１号発行 小石川図書館　読書会はじまる。
昭和37年 9 月 （1962）	本郷図書館　新館に移転。設置条例改正により、文京区立鷗外記念本郷図書館となる。 図書館のみ閲覧開始　午前９時30分～午後５時まで　館則の改正により日曜日が休館日となる。
10月	鷗外記念本郷図書館　落成式挙行。記念室開き行なわれる。
11月	同館　開館時間を延長し、午前９時30分～午後８時とする。
昭和38年 7 月 （1963）	鷗外記念本郷図書館　講演会「鷗外をめぐる人々」シリーズはじまる。
12月	鷗外記念本郷図書館　レコードコンサート開始、婦人のための図書目録刊行
昭和39年11月 （1964）	鷗外記念本郷図書館　第１回「文豪・森鷗外」展開催　11月21日～23日　３日間
昭和40年 4 月 （1965）８月	鷗外記念本郷図書館「文学講座」開講 鷗外記念本郷図書館　婦人のための図書目録改訂第３版刊行 小石川図書館　夏期巡回子ども図書館40年度をもって廃止（昭和26年から15年間）出張所文庫廃止（昭和29年から12年間）
昭和41年 4 月 （1966）	小石川図書館　新館落成式(矧)　閲覧再開(矧) 開館時間　午前10時～午後８時 小石川図書館　諸制度を改正〔閲覧方式→開架式、貸出方式→ブラウン式、座席指定制導入、館外貸出１回２冊10日間（ただし鷗外記念本郷図書館は１回１冊・日本の小説は３冊・10日間）〕 館外貸出の保証人制度を廃止（小石川・鷗外記念本郷）
9 月	小石川図書館　レコード・ライブラリー室利用はじまる。
10月	小石川図書館　毎週金曜日定期的行事開催（第１・第３新諸紹介コンサート、第２優秀映画を観る会、第４ステレオコンサート）
11月	小石川図書館「優秀映画を観る会」開始、第１回「好人好日」解説　岩崎旭氏
※	小石川図書館に「希望図書ノート」設置
昭和42年※ （1967）	小石川図書館　団体貸出開始（１団体10人以上、１回50冊、１ケ月）配本は月１回。車を借上げて巡回。 〔参〕鷗外記念本郷（１団体10人以上、１口10冊、10口以内、１ケ月）
昭和44年10月 （1969）	小石川図書館　レコードの館外貸出開始（１回５枚、８日間）登録には、レコードプレーヤーの確認と、レコード針の検査が必要
昭和46年 6 月 （1971）	鷗外記念本郷図書館　閲覧方式を改め開架方式とする。同時に貸出をブラウン式（正式には逆ブラウン方式）に改める。
8 月	小石川・鷗外記念本郷両館　コピーサービスを開始（利用券を購入し、職員がコピーをしていた）
昭和47年※ （1972）	小石川・鷗外記念本郷両館　返却ポストを設置（夜間、休館日でも返却できるようになる）
昭和48年12月 （1973）	小石川図書館　カセット・テープによるハンディキャップサービスを開始（テープを１回６巻１ケ月間、往復とも無料で郵送貸出、なお希望者にはテープデッキも貸出）

年　月	事　項
昭和49年 5 月 （1974）	本駒込図書館開館　貸出方式フォトチャージング方式とする。 （１回４冊、レコード５枚　期間14日～19日）開館時間　午前10時～午後８時。
※	予約サービスを開始
昭和50年 2 月 （1975）	小石川図書館　優秀映画を観る会　第100回を迎える。(映画会記録“歩み。発行)
6 月	小石川図書館　サロンコンサート（生演奏）を開始（オーボエと弦楽合奏の夕べ） 本駒込図書館　映画会（名作洋画を観る会）、レコードコンサート開始。集会室を貸出。
昭和51年 1 月 （1976）	真砂図書館開館（貸出方式、期間などは本駒込図書館と同じ） 開館時間午前10時～午後８時。
7 月	小石川図書館千石分館開館（児童を中心とした貸出に重点を置く文京区立図書館で初めての分館　開館時間　午後１時～５時、日曜日休館）
昭和52年 6 月 （1977）	鷗外記念本郷図書館「文学講演会第100回記念講演会」を開催（文京区民センター） 小石川図書館　レコードライブラリー、試聴方式を集中方式から各自操作に切換（レコードプレーヤー３台、カセットデッキ２台、オープンデッキ１台）また登録時のレコード針の検査を廃止
昭和53年 4 月 （1978）	水道端図書館開館　貸出返却その他にコンピューターを導入、カウンター事務と検索の迅速化をはかる。相互協力車（メールカー）を導入,区内および都立中央図書館に運行を開始。(小石川図書館の団体文庫の配本も車の借上げをこの車に切替)
11月	小石川図書館「小石川落語会」を開始（若手落語家による高座は好評）　.
昭和54年 4 月 （1979）	各地区館日曜開館を実施（第１・第３日曜日　本駒込・水道端、第２・第４日曜日　小石川・鷗外記念本郷・真砂図書館）開館時間　午前10時～午後５時。開館の翌日は休館。
9 日	世界の絵本展（国際児童年にちなんだもの）区民センターで開催。終了後各館もちまわりで絵本展を開く。(本駒込９月、水道端・真砂10月、鷗外記念本郷・千石分館11月、小石川12月)
昭和55年 4 月 （1980）	真砂図書館湯島分館開館（湯島総合センター４階）文京区第７番目の図書館としてサービス開始。 コンピューター方式　開館時間　午後１時～５時（日曜休館）
11月	水道端図書館　布の絵本貸出開始
昭和56年 4 月 （1981）※	第一次電算Ｐ．Ｔ．発足 文京区立図書館　大型活字本を備える。(各館分担収集)
昭和57年12月 （1982）	小石川図書館　レコードライブラリー新規オープン（他の館と同じ開架式となる。）参考図書室新設
昭和58年 4 月 （1983） 6 月	中高生対策会議発足 目白台図書館開館、貸出開始
昭和59年 1 月 （1984） 2 月	水道端図書館　３館オンライン開始（水道端図書館、目白台図書館、湯島分館）コンピュータオンラインリアルタイム処理移行の第一段階開始
2 月	文京区立図書館　サービス機能検討委員会発足
5 月	文京区立図書館　資料委員会発足
7 月	図書館総合管理電算化研究部会(第二段階の研究)発足
12月	障害者の日記念「ふれあいのつどい」図書展　全館あげて参加
昭和60年12月 （1985）	本駒込図書館「名作映画を観る会」第100回を迎える。
昭和61年10月 （1986）	障害者用カセットテープの貸出を視覚障害者以外にも拡大(全館)。「文京区立図書館のあり方検討委員会」最終答申報告。
12月	文京区立図書館報第100号発行

Ⅴ．事業報告

1．蔵書及び貸出数の状況（区民100人当り）



2．昭和60年度貸出状況及び登録者数

区分		単位	鷗外図書館	小石川図書館	千石分館	本駒込図書館	真砂図書館	湯島分館	水道端図書館	目白台図書館	合計
資料数	一般図書	冊	31,808	66,386	21,438	54,142	58,802	28,641	72,246	35,605	369,068
	児童図書	冊	9,256	17,255	17,296	20,562	19,490	20,145	28,387	14,228	146,619
	レコードカセット	点	—	14,074	—	10,951	8,148	—	10,562	6,081	49,816
	合計	点	41,064	97,715	38,734	85,655	86,440	48,786	111,195	55,914	565,503
貸出数	一般図書	冊	94,210	105,997	78,203	130,337	121,041	48,143	176,709	119,037	873,677
	児童図書	冊	49,752	46,292	86,466	66,560	51,143	36,499	107,528	69,061	513,301
	小計	冊	143,962	152,289	164,669	196,897	172,184	84,642	284,237	188,098	1,386,978
	レコードカセット	点	—	94,915	—	67,263	51,768	—	61,530	58,025	333,501
	合計	点	143,962	247,204	164,669	264,160	223,952	84,642	345,767	246,123	1,720,479
登録者数	一般	人	3,726	8,938	2,348	12,491	6,967	1,784	8,994	6,472	51,720
	児童	人	1,412	1,433	1,902	2,183	1,889	928	2,750	1,920	14,417
	合計	人	5,138	10,371	4,250	14,674	8,856	2,712	11,744	8,392	66,137

3．昭和60年度分野別蔵書構成比表

館名	種別	総数	構成比率（%）
鵜外記念本郷図書館	一般図書	31,808冊	郷土資料 3.6 / 新書、文庫 11.2 / 総記 3.7 / 哲学 2.6 / 歴史 7.6 / 社会科学 9.5 / 自然科学 4.3 / 技術 6.1 / 産業 1.6 / 芸術 6.9 / 語学 1.7 / 文学 41.2
	児童図書	9,256冊	図書 65.1 / 絵本 31.7 / 紙芝居 3.2

館名	種別	総数	構成比率（%）
小石川図書館	一般図書	66,386冊	郷土資料 5.1 / 総記（新書文庫含む） 13.8 / 哲学 3.1 / 歴史 7.3 / 社会科学 12.4 / 自然科学 4.6 / 技術 3.8 / 産業 1.8 / 芸術 12.5 / 語学 1.5 / 文学 34.1
	児童図書	17,255冊	図書 56.3 / 絵本 38.8 / 紙芝居 4.9
	レコードおよびカセットテープ	14,074点	クラシック 41.4 / ポピュラー 47.0 / その他のレコード 5.0 / カセットテープ 6.6

館名	種別	総数	構成比率（%）
小石川図書館千石分館	一般図書	21,438冊	分類別統計なし
	児童図書	17,296冊	図書 63.7 / 絵本 33.6 / 紙芝居 2.7

館名	種別	総数	構成比率（%）
本駒込図書館	一般図書	54,142冊	郷土資料 2.0 / 新書、文庫 11.2 / 総記 7.0 / 哲学 3.1 / 歴史 8.2 / 社会科学 16.1 / 自然科学 5.3 / 技術 5.6 / 産業 2.0 / 芸術 10.1 / 語学 1.8 / 文学 27.6
	児童図書	20,562冊	図書 62.1 / 絵本 35.2 / 紙芝居 2.7
	レコードおよびカセットテープ	10,951点	クラシック 37.1 / ポピュラー 38.4 / その他のレコード 10.9 / カセットテープ 13.6

館名	種別	総数	構成比率（%）
真砂図書館	一般図書	58,802冊	郷土資料 1.4 / 新書、文庫 13.8 / 総記 3.1 / 哲学 3.5 / 歴史 9.1 / 社会科学 11.8 / 自然科学 7.0 / 技術 5.7 / 産業 2.6 / 芸術 9.2 / 語学 1.2 / 文学 36.6
	児童図書	19,490冊	図書 70.9 / 絵本 27.7 / 紙芝居 1.4
	レコードおよびカセットテープ	8,148点	クラシック 38.7 / ポピュラー 43.7 / その他のレコード 8.7 / カセットテープ 8.9

館名	種別	総数	構成比率（%）
真砂図書館湯島分館	一般図書	28,641冊	郷土資料 1.2 / 新書、文庫 17.8 / 総記 2.2 / 哲学 2.6 / 歴史 6.8 / 社会科学 8.3 / 自然科学 5.0 / 技術 8.2 / 産業 1.5 / 芸術 8.6 / 語学 1.2 / 文学 36.6
	児童図書	20,145冊	図書 67.8 / 絵本 30.1 / 紙芝居 2.1

館名	種別	総数	構成比率（%）
水道端図書館	一般図書	72,246冊	郷土資料 2.2 / 新書、文庫 17.6 / 総記 3.0 / 哲学 3.3 / 歴史 7.0 / 社会科学 13.1 / 自然科学 5.3 / 技術 7.9 / 産業 1.6 / 芸術 8.8 / 語学 1.5 / 文学 28.7
	児童図書	28,387冊	図書 68.9 / 絵本 28.9 / 紙芝居 2.2
	レコードおよびカセットテープ	10,562点	クラシック 35.8 / ポピュラー 47.3 / その他のレコード 7.3 / カセットテープ 9.6

館名	種別	総数	構成比率（%）
目白台図書館	一般図書	35,605冊	郷土資料 1.0 / 新書、文庫 18.8 / 総記 3.0 / 哲学 5.7 / 歴史 7.8 / 社会科学 11.8 / 自然科学 4.6 / 技術 7.1 / 産業 1.9 / 芸術 9.0 / 語学 1.8 / 文学 27.5
	児童図書	14,228冊	図書 59.1 / 絵本 37.8 / 紙芝居 3.1
	レコードおよびカセットテープ	6081点	クラシック 29.2 / ポピュラー 34.1 / その他のレコード 1.5 / カセットテープ 35.3

4．昭和60年度行事一覧

図書館名＼行事		一般対象							児童対象				合計
		文学講演会	文学講座	映画会	コンサート	落語会	講演会	計	映画会	子ども会等	おはなし会	計	
鷗外記念本郷	回数	7	6	—	—	—	—	13	—	3	—	3	16
	参加人員	613	155	—	—	—	—	768	—	452	—	452	1,220
小石川	回数	—	—	8	4	2	1	15	3	3	42	48	63
	参加人員	—	—	635	173	117	20	945	517	462	1,326	2,305	3,250
千石(分)	回数	—	—	—	—	—	—	—	13	6	114	133	133
	参加人員	—	—	—	—	—	—	—	483	176	2,403	3,062	3,062
本駒込	回数	—	—	14	—	—	1	15	5	5	36	46	61
	参加人員	—	—	2,049	—	—	27	2,076	982	899	1,654	3,535	5,611
真砂	回数	—	—	7	3	—	—	10	13	6	30	49	59
	参加人員	—	—	657	196	—	—	853	1,274	845	826	2,945	3,798
湯島(分)	回数	—	—	—	—	—	—	—	6	—	35	41	41
	参加人員	—	—	—	—	—	—	—	613	—	935	1,548	1,548
水道端	回数	—	—	12	12	—	—	24	5	3	41	49	73
	参加人員	—	—	692	276	—	—	968	1,170	672	2,021	3,863	4,831
目白台	回数	—	—	—	—	—	2	2	3	5	55	63	65
	参加人員	—	—	—	—	—	75	75	547	633	2,431	3,611	3,686
合計	回数	7	6	41	19	2	4	79	48	31	353	432	511
	参加人員	613	155	4,033	645	117	122	5,685	5,586	4,139	11,596	21,321	27,006

5．昭和60年度リクエスト処理状況

処理内容＼館名	予約購入希望総数 A	処理内容											未処理 A-(B+C+D)
		館内処理		他館より借受									
		館内資料 B	購入 C	鷗外	小石川	千石	本駒込	真砂	湯島	水道端	目白台	区内小計	都立等	借受計 D	
鷗外	(1,132) 4,613	(906) 2,786	(5) 303		(15) 127	(2) 20	(6) 84	(13) 132	(23) 81	(54) 327	(6) 131	(119) 902	(7) 287	(126) 1,189	(95) 335
小石川	(2,259) 4,850	(1,376) 3,293	(33) 143	(9) 75		(127) 134	(162) 195	(47) 75	(84) 107	(249) 326	(52) 134	(730) 1,046	(25) 183	(755) 1,229	(95) 185
千石	(977) 3,800	(823) 2,655	(3) 35	(8) 88	(35) 243		(24) 95	(4) 41	(22) 110	(18) 188	(18) 140	(129) 905	(0) 73	(129) 978	(22) 132
本駒込	(1,206) 3,625	(995) 2,077	(70) 344	(2) 52	(11) 169	(3) 12		(6) 103	(14) 65	(33) 213	(4) 89	(73) 703	(15) 224	(88) 927	(53) 277
真砂	(1,146) 3,236	(710) 1,987	(0) 129	(12) 70	(22) 77	(7) 20	(22) 76		(79) 157	(36) 120	(43) 107	(221) 627	(14) 120	(235) 747	(201) 373
湯島	(921) 2,074	(286) 874	(1) 60	(8) 21	(60) 74	(16) 19	(103) 127	(95) 137		(219) 378	(124) 196	(625) 952	(0) 124	(625) 1,076	(9) 64
水道端	(4,892) 11,285	(1,948) 6,087	(8) 451	(70) 174	(281) 432	(102) 127	(401) 536	(199) 328	(1,050) 1,275		(560) 847	(2,663) 3,719	(35) 460	(2,698) 4,179	(238) 568
目白台	(1,924) 4,901	(584) 2,037	(24) 299	(61) 123	(152) 281	(54) 63	(120) 196	(142) 226	(328) 442	(422) 757		(1,279) 2,088	(20) 300	(1,299) 2,388	(17) 177
計	(14,457) 38,384	(7,628) 21,796	(144) 1,764	(170) 603	(576) 1,403	(311) 395	(838) 1,309	(506) 1,042	(1,600) 2,237	(1,031) 2,309	(807) 1,644	(5,839) 10,942	(116) 1,771	(5,955) 12,713	(730) 2,111

1．（　）内は、児童で内書である。但し、視聴覚資料は除く。
2．未処理には、取消無効等を含む。

6．昭和60年度資料購入数

種別＼館名	鷗外	小石川	千石	本駒込	真砂	湯島	水道端	目白台	合計
一般図書（冊）	3,762	4,867	2,067	7,386	6,129	2,502	6,715	4,901	38,329
児童図書（点）	1,424	2,916	1,964	2,577	2,099	1,679	2,286	1,421	16,366
レコードカセット(点)	—	901	—	869	884	—	921	1,215	4,790
計	5,186	8,684	4,031	10,832	9,112	4,181	9,922	7,537	59,485

7．昭和61年度予算

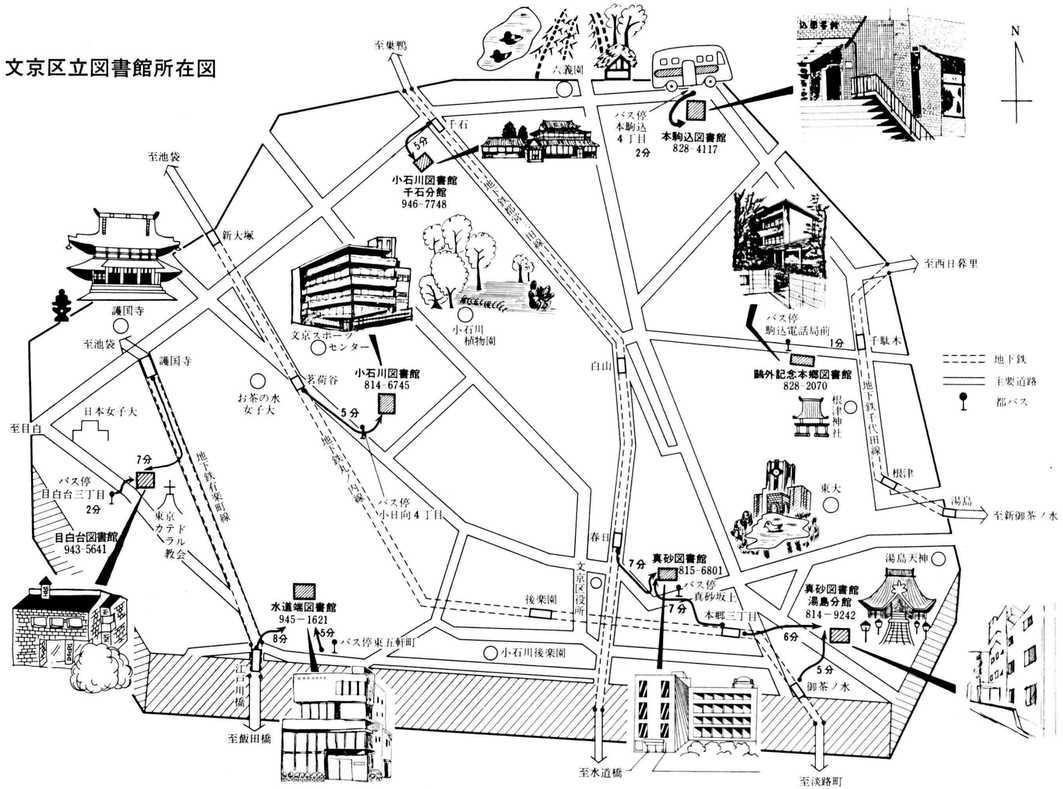
（単位千円）

事項＼館名	鷗外	小石川	千石	本駒込	真砂	湯島	水道端	目白台	合計
図書館費	30,534	61,129	13,336	34,545	91,403	39,683	67,924	41,078	379,632
1．運営費	15,016	36,886	9,927	28,927	27,061	10,615	46,379	24,335	199,146
(1) 資料購入費	7,393	16,219	4,299	15,749	15,535	4,607	15,930	12,570	92,302
一般図書	4,632	8,695	1,641	9,836	9,789	2,188	8,929	6,664	52,374
児童図書	1,190	2,596	1,915	1,775	1,831	1,634	2,421	1,219	14,581
レコードカセット	—	1,656	—	1,669	1,700	—	1,771	2,400	9,196
新聞雑誌等	1,571	3,272	743	2,469	2,215	785	2,809	2,287	16,151
(2) 資料整備等	7,623	20,667	5,628	13,178	11,526	6,008	30,449	11,765	106,844
2．維持費	12,713	24,243	3,409	5,618	42,275	29,068	21,545	16,743	155,614
3．その他	(1) 2,805	—	—	—	(2) 22,067	—	—	—	24,872

(1) 鷗外記念室運営費
(2) 電算移行経費

Ⅵ．各施設案内

文京区立図書館所在図



N
至巣鴨
六義園
千石
5分
小石川図書館
千石分館
946-7748
バス停
本駒込
4丁目
2分
本駒込図書館
828-4117
至池袋
新大塚
護国寺
至池袋
護国寺
文京スポーツ
センター
小石川
植物園
小石川図書館
814-6745
5分
茗荷谷
お茶の水
女子大
日本女子大
至目白
7分
バス停
目白台三丁目
2分
目白台図書館
943-5641
東京
カテドラル
教会
地下鉄有楽町線
地下鉄丸ノ内線
バス停
小日向4丁目
水道端図書館
945-1621
8分
5分
バス停東五軒町
江戸川橋
至飯田橋
小石川後楽園
後楽園
文京区役所
白山
春日
7分
真砂図書館
815-6801
バス停
真砂坂上
7分
本郷三丁目
真砂図書館
湯島分館
814-9242
6分
5分
御茶ノ水
至水道橋
至淡路町
至西日暮里
バス停
駒込電話局前
1分
千駄木
鷗外記念本郷図書館
828-2070
根津神社
地下鉄千代田線
根津
東大
湯島
至新御茶ノ水
湯島天神
地下鉄
主要道路
都バス

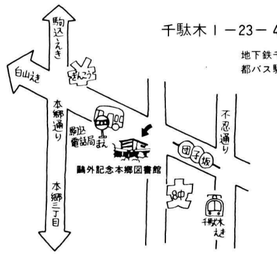
鷗外記念本郷図書館

鷗外記念本郷図書館は、文豪森鷗外が永く住んだ「観潮楼」跡に昭和37年９月、鷗外記念室を併設したユニークな図書館として開館しました。地下鉄千代田線千駄木駅から約３分、団子坂を登りきった坂の上にあります。

区民に密着した図書館をモットーに、文学講演会、文学講座、子ども会等の行事も行なっています。

また鷗外記念室では鷗外の遺品、自筆原稿、書簡等を展示するとともに、鷗外研究に欠かせない貴重な資料を多数保存、閲覧しています。

貸出方式　ブラウン方式
貸 出 数　１人１回４冊
貸出期間　15日間
開館時間　月曜日から金曜日　午前10時～午後８時
土曜日と第２・４日曜日　午前10時～午後５時
休 館 日　第１・３・５日曜日、第２・４日曜日の翌日、第３木曜日、国民の祝日、年末年始、特別整理期間
行　　事　文学講演会、文学講座、３大子ども会（ひなまつり、たなばた、クリスマス）
分担収集　日本文学

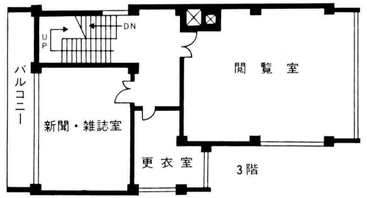


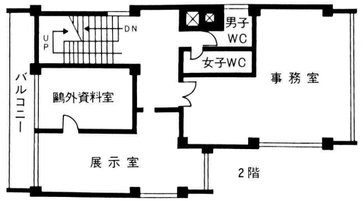
千駄木１－23－４　☎828－2070

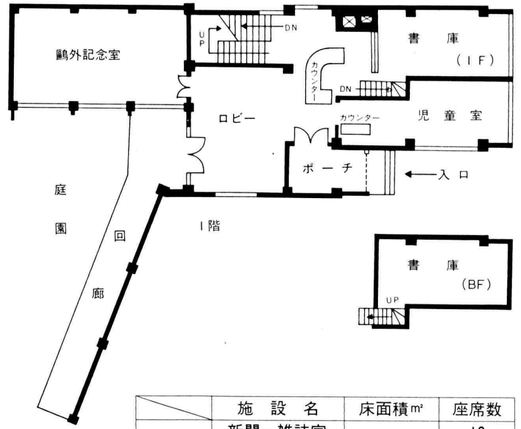
地下鉄千代田線千駄木駅徒歩３分
都バス駒込電話局前徒歩１分

鷗外記念室・展示室　鷗外記念室には、森鷗外の遺品、原稿、遺言書、書簡、日記、著書等を展示し、随時交換陳列しています。
また展示室には鷗外を中心とした近代文学の人々に関する展示を、パネルでわかりやすく解説しています。
庭園は当時の面影を残し、「三人冗語の石」や沙羅の木、大銀杏が見られます。
（鷗外生資料2,398点、図書3,462冊　昭和60年３月末現在）

そ の 他　視力の弱い方のために、拡大鏡、大きな活字の本を用意しています。また身体の不自由な方には、カセットテープの貸出も行なっています。







	施設名	床面積㎡	座席数
3階	新聞・雑誌室 閲覧室 更衣室	209.06	19 60
2階	展示室 資料室 事務室	209.06	2
1階	児童室 鷗外記念室 書庫	317.85	13
地階	倉庫 機械室	238.79	－
その他	－	33.01	－
合計	－	1,007.77	94

小石川図書館

小石川図書館は、竹早公園に隣接した歴史ある図書館です。また石川啄木終焉の地は目と鼻の先にあります。

当館は、昭和22年11月に、はじめての区立図書館として窪町小学校内に設置され、昭和26年7月現在地に木造2階建で新築移転しました。その後、利用者層の拡大に伴い、施設の拡充や資料の充実についての要望に応えるため、昭和41年4月全面改築しました。これが現在の建物です。

昭和48年、他区に先がけ視覚障害者を対象とした、カセットテープの郵送貸出しをスタートしたほか、視聴覚資料、地域資料などにおいて、文京区の中心的な役割を果してきました。

貸出方式　ブラウン方式

貸出数　一般・児童　1人1回図書等4冊（点）
レコード・カセット　1人1回4セット

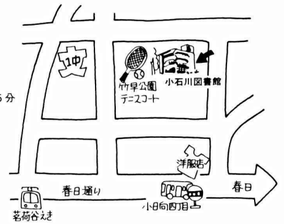
貸出期間　図書15日間、レコード・カセット8日間

開館時間　月曜日から金曜日　午前10時～午後8時
土曜日と第2・4日曜日　午前10時～午後5時

休館日　第1・3・5日曜日、第2・4日曜日の翌日
第1木曜日

小石川5－9－20
☎814－6745

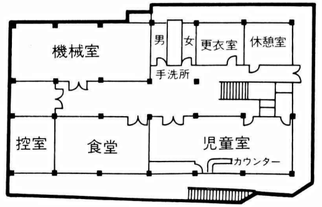
地下鉄丸ノ内線茗荷谷駅徒歩5分
都バス小日向四丁目徒歩2分



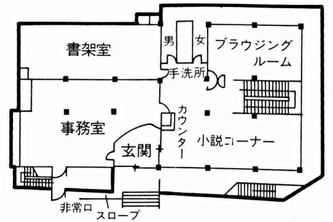
行事　国民の祝日、年末年始、特別整理期間
映画会、レコードコンサート、サロンコンサート（生演奏）、落語会、三大子ども会（ひなまつり、たなばた、クリスマス）、子ども映画会、母親講演会、おはなし会

分担収集　郷土資料、総記、法律、教育、日本文学、音楽図書

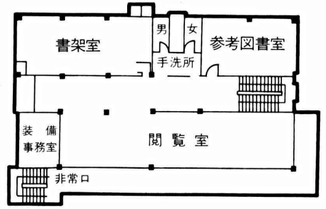
障害者サービス
1. 区内在住、在勤、在学の障害者等を対象に、カセットテープを1か月8巻、郵送又は窓口で貸出しています。
（昭和60年度実績、所蔵3246巻、貸出2046巻、登録156人）
2. 昭和61年度、玄関入口のスロープ化、自動ドア、階段手摺等の改修工事を行いました。



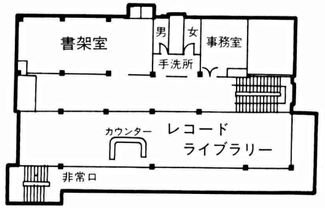
地階



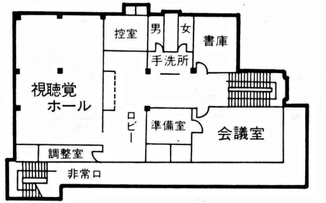
1階



2階



3階



4階

	施設名	床面積㎡	座席数
4階	視聴覚ホール	136	90
	会議室	48	
	その他	230	
3階	レコードライブラリー	184	
	事務室	24	
	その他	218	
2階	閲覧室	160	130
	参考図書室	48	16
	装備事務室	24	
	その他	146	
1階	事務室	96	
	小説コーナー	72	
	ブラウジングルーム	48	13
	書架室	72	
	その他	102	
地階	児童室	72	20
	食堂	48	32
	機械室	72	
	その他	194	
合計		1,994	301

小石川図書館千石分館

—藤の花咲く庭の広い図書館です—

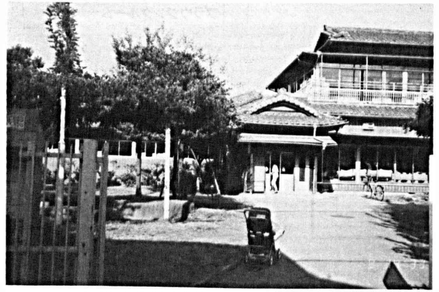
都営三田線千石駅から歩いて三分。静かな住宅街の一角に、古風な和風建築の建物が目についたら、それが千石分館です。

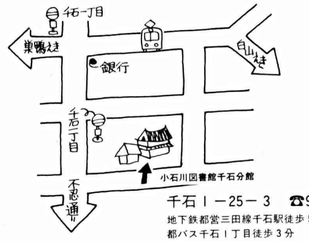
昭和51年7月、地域住民の方々の熱心な要望に応えて、「母と子のための図書館」として出発しました。

開館から10年。「小さくても頼れます！」「千石は私の書斎」と言われるまでになりました。建物に親しみと、暖かさがあるように、地域の人々の日常の暮しに役立ち、本と人との楽しい出会いの場となる図書館を目指しています。

子ども達に「おはなしの楽しさを」「読書への導入」を目的に、地域や学生ボランティアの協力を得て、バラエティーに富んだおはなし会を行っています。又、地域の施設との結びつきを大切にした運営を心がけています。

貸出方式　変型ブラウン方式
貸 出 数　一般・児童　1人1回4冊（点）
貸出期間　15日間
開館時間　月曜日から土曜日、午後1時～午後5時

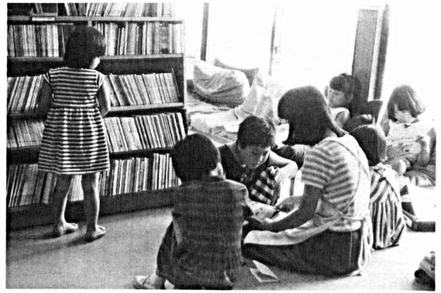


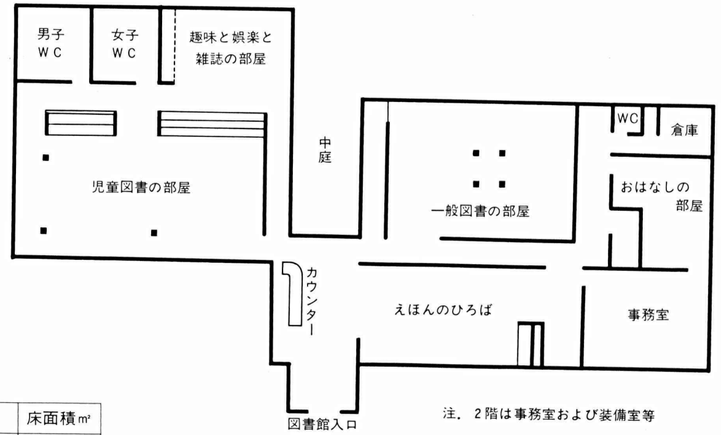


千石1－25－3　☎946－7748
地下鉄都営三田線千石駅徒歩5分
都バス千石1丁目徒歩3分

休 館 日　日曜日、第1木曜日
国民の祝日、年末年始、特別整理期間

行　　事　おはなし会
毎週水曜日　小学生以上
毎週金曜日　幼児から小学生も含めて
隔週土曜日　〃
ゲームなどの遊びも
子ども映画会　毎月最終土曜日
ブックトーク　不定期





注．2階は事務室および装備室等

	施　設　名	床面積㎡
1階	えほんのひろば	25
	児童図書の部屋	59
	趣味と娯楽と雑誌の部屋	23
	一般図書の部屋	47
	おはなしの部屋、他	126
2階	事　務　室　等	89
合計		369

本駒込図書館

昭和49年５月、文京区３番目の図書館として、元都電神明町車庫跡に、都営住宅、勤労福祉会館、幼稚園と共に開館しました。図書館は、２階部分のワンフロアーで、それまでの図書館ではみられなかった広いスペースの子どものひろば（児童室）を始め、雑誌、新聞コーナー、旅行ガイドコーナー、家事コーナー、ヘッドホーンにより、20人同時にレコードの個人鑑賞が、できるブラウジング・コーナーなどもあります。資料（本やレコード）の貸出し、レファレンスの他、映画会、子ども会の行事など、随時行っています。

貸出方式　フォト・チャージング方式
８㎜フィルムのフォトレコーダーによって、貸出記録をフィルム撮影して保管する貸出方式

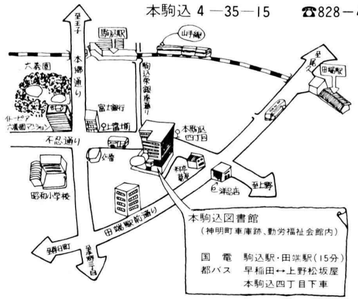
貸 出 数　一人１回　図書４冊、レコード５セット、読学カセット10巻、その他のカセット２巻

貸出期間　14日～19日間

開館時間　月曜日から金曜日　午前10時～午後８時
土曜日と第１・３日曜日　午前10時～午後５時

休 館 日　第２・４・５日曜日、第１・３日曜日の翌日、第２木曜日、国民の祝日、年末年始、特別整理期間

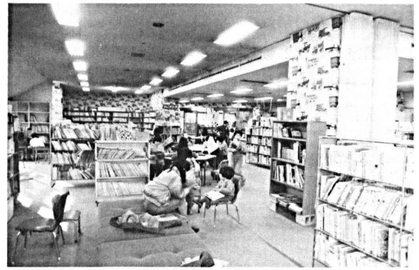
本駒込４―35―15　☎828―4117

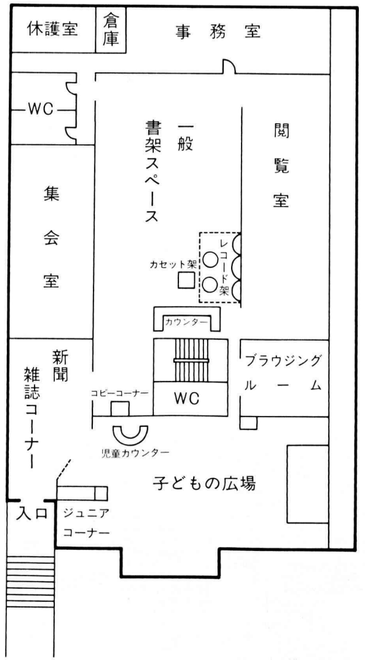


行　　事　名作映画を観る会(毎月第２土曜日)、３大子ども会(ひなまつり、たなばた、クリスマス)、講演会、地域向けの催物（展示会など)、子ども会（毎週水曜日、おはなし会、映画会、工作会など）

分担収集　経済、財政、統計、政治、風俗、民俗学、軍事、演劇映画、スポーツ、言語

そ の 他　視力の弱い人のために、大型活字本や、拡大読書器を設置した専用閲覧席もあります。





施設名	床面積㎡	座席数
新聞雑誌コーナー	95	14
子どもの広場	230.0	25
書架室	305.6	—
ブラウジングコーナー	42.2	20
閲覧室	160.2	96
集会室	129.0	100
事務室他	340.0	—
合計	1302.0	245

真砂図書館

真砂図書館は、親しまれる図書館を目標に、文京区で4番目の図書館として昭和51年1月に開館しました。

泉鏡花の名作「婦系図」に「真砂町」がでてきますが、町名は現在住居表示でなくなり、この地区待望の図書館に、真砂（まさご）の名がつけられました。

開館以来、フォト・チャージング方式で、貸し出ししていましたが、昭和62年4月1日より、水道端図書館、目白台図書館、真砂図書館湯島分館に続く、4番めのオンライン館としてスタートします。

貸出方式　コンピュータ方式

貸 出 数　一般…1人1回図書4冊、レコード5点、語学カセット1点
児童…1人1回図書、紙芝居あわせて4点、レコード1点

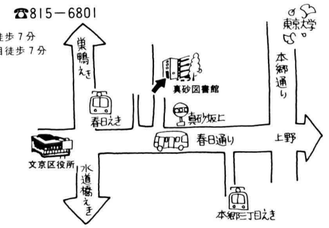
貸出期間　15日間

開館時間　月曜日から金曜日　午前10時～午後8時
土曜日と第2・4日曜日　午前10時～午後5時

休 館 日　第1・3・5日曜日
第2・4日曜日の翌日

本郷4－8－15　☎815－6801

地下鉄都営三田線春日駅徒歩7分
地下鉄丸ノ内線本郷三丁目徒歩7分
都バス真砂坂上徒歩2分

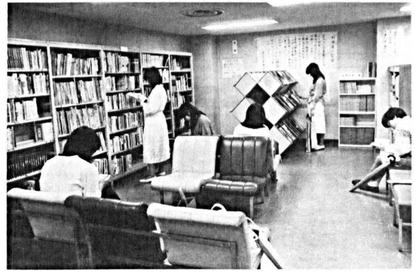


休 館 日　第1木曜日
国民の祝日、年末年始、特別整理期間

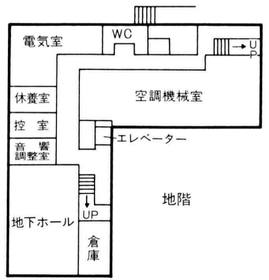
行　　事　名画鑑賞会、クラシック・ライブ・コンサート、子ども会（たなばた、クリスマス）、子ども映画会、おはなし会（毎週水曜日）

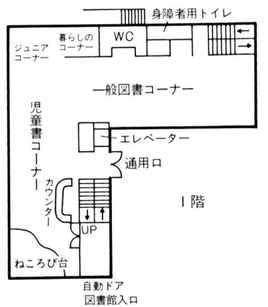
分担収集　歴史、伝記、数学、理学、医学、農林業、水産業、商業、交通

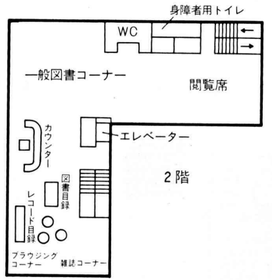
そ の 他　車椅子のまま利用できるよう、入口をスロープ化し、エレベーターや専用トイレを設置しています。また、弱視の方のために、大型活字本や、ルーペを用意しています。

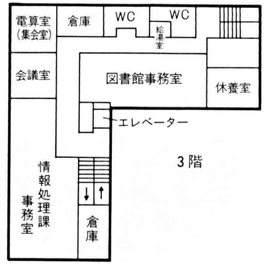


	施　設　名	床面積㎡	座席数
4階	情報処理課電算室他	542.769	－
3階	情報処理課事務室 真砂図書館事務室 会議室	576.249	－
2階	一般書架 閲覧席 ブラウジングルーム	576.249	－ 48 20
1階	児童書架及び閲覧席 中学生閲覧席 一般書架	573.311	16 6 －
地階	視聴覚ホール 電気・機械室	575.736	80 －
合　　計		2844.314	170









真砂図書館湯島分館

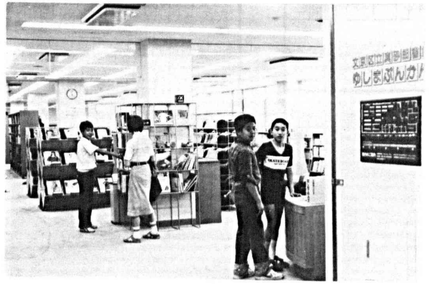
真砂図書館湯島分館は、地域の人々に愛される図書館をめざし昭和55年4月真砂図書館の分館として開設されました。

文京区で初めての複合施設である文京区湯島総合センターの4階にあります。

湯島分館は、本館のサービスエリアから離れた地域を補完するために設けられたもので、明るく、開放的なワンフロアーの室内は、より多くの児童に利用してもらえるようにたくさんの児童図書をそろえ、時に幼児には、靴を脱いで上がれる「えほんのへや」を設け絵本や紙芝居をたくさんそろえております。また、一般利用者の方々には、主に小説、趣味、家事、育児に関する本を中心に集めてサービスに努めております。

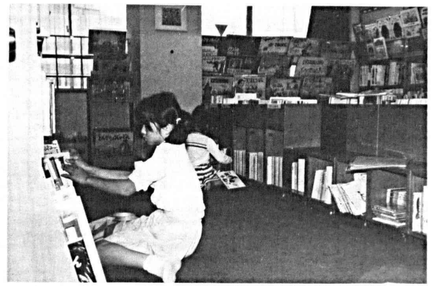
この地区は夜間より昼間人口（在勤者）が多い業務地であるため昭和61年5月から開館時間を繰り上げてからは、周辺の主婦の方々や会社員の方々にも昼休みに利用していただけるようになりました。

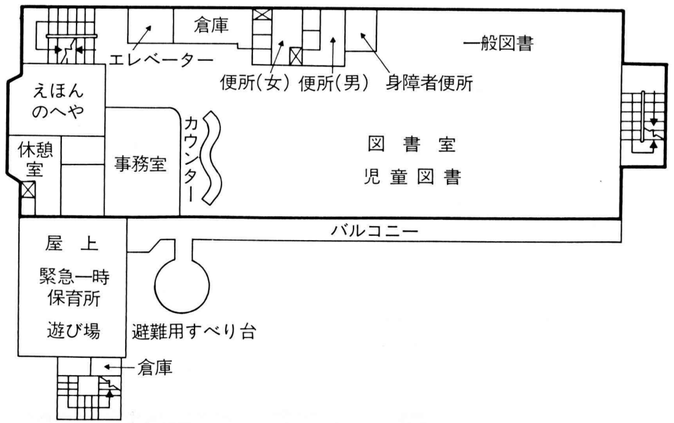
貸出方式　コンピュータ方式
貸 出 数　1人1回4冊
貸出期間　15日間



本郷３－10－18（文京区湯島総合センター４階）
☎814－9242
地下鉄丸ノ内線本郷３丁目駅徒歩６分
都バス本郷２丁目徒歩５分

開館時間　月曜日から土曜日　正午～午後5時
休 館 日　日曜日、第1木曜日、国民の祝日、年末年始、特別整理期間
行　　事　子ども映画会、おはなし会
そ の 他　体の不自由な方へのサービスとして、玄関のスロープ化、自動ドア、エレベーター、専用トイレの設置や大型活字本、拡大鏡も置いています。





施設名	床面積 ㎡	座席数
図書室	344.7	25
えほんのへや	25.3	
事務室	35.0	
休憩室	11.2	
その他	70.64	
合計	486.84	25

水道端図書館

水道端図書館は、区民の身近な図書館を目ざして、文京区で5番目の図書館として昭和53年4月に開館しました。

地下鉄有楽町線江戸川橋駅より徒歩8分、都バス停留所の東五軒町より徒歩5分、江戸川橋より徒歩8分のところにある地上4階建ての白い建物です。

建物は、窓を大きくし、明るく親しみやすい雰囲気を持たせてあり、身障の方の利用もできるよう入口のスロープ化、専用エレベーター、専用トイレ等を設置しています。

昭和59年1月から当館にコンピュータの本体を置き、目白台図書館、湯島分館を通信回線で結び、オンライン化で利用者の利便をはかっています。

貸出方式　コンピュータ方式

貸出数　一般…1人1回図書4冊、レコード5点、カセット2点、語学カセット1点
児童…1人1回図書、紙芝居合わせて4点、レコード2点、カセット1点

貸出期間　15日間

開館時間　月曜日から金曜日　午前10時～午後8時
土曜日と第1・3日曜日　午前10時～午後5時

休館日　第2・4・5日曜日
第1・3日曜日の翌日、第4木曜日
国民の祝日、年末年始、特別整理期間

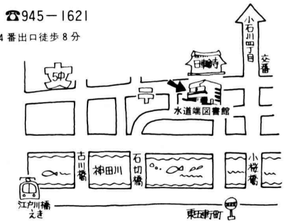
行事　読書会、レコードコンサート、サロンコンサート、映画会、三大子ども会（ひなまつり、たなばた、クリスマス）、おはなし会（毎週水曜日）

分担収集　地理、歴史、紀行、社会、技術、写真、印刷

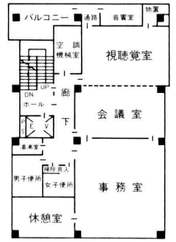
その他　ボランティア・グループが制作した布の絵本を貸出しています。

水道2－16－14　☎945－1621

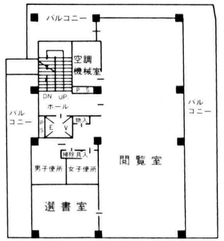
地下鉄有楽町線江戸川橋駅4番出口徒歩8分
都バス東5軒町徒歩5分



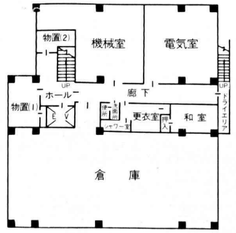
	施設名	床面積㎡	座席数
4階	視聴覚室・音響室	283.80	80
	会議室		—
	事務室		
3階	閲覧室	266.75	80
	選書事務室		—
2階	一般書架室	405.68	15
	新聞コーナー		12
	A.V.コーナー		10
1階	児童書架及び閲覧席	399.70	22
	雑誌コーナー(一般)		16
	一般書架コーナー		
地階	倉庫・電気・機械室	382.90	—
合計		1171.23	235



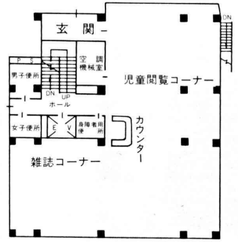
4階



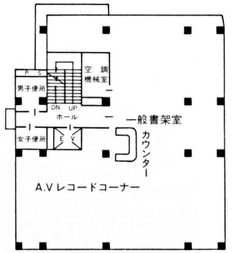
3階



地階



1階



2階

目白台図書館

目白台図書館は、昭和58年６月に文京区で８番目の図書館として開館しました。目白通りから一歩奥まった閑静な住宅地に、四角い煙突に傾斜した屋根をもつ赤レンガの建物で、木製の書架と木目の床で調和のとれた落ち着いた雰囲気です。日曜開館の日には、カテドラル教会の鐘の音が、ちょうど開館時刻に響き渡るのが聞こえます。コンピュータ・オンライン・システムにより、資料の貸出、返却、検索などに一層充実したサービスを目指しています。

貸出方式　コンピュータ方式

貸 出 数　一般…１人１回図書４冊、レコード・カセットテープ合わせて５点
児童…１人１回図書、紙芝居合わせて４点

貸出期間　15日間

開館時間　月曜日から金曜日　午前10時～午後８時
土曜日と第１・３日曜日　午前10時～午後５時

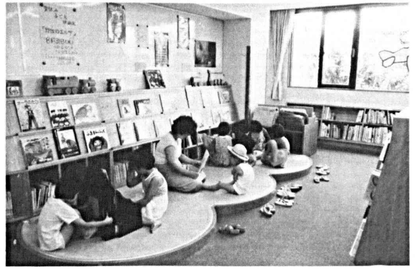
休 館 日　第２・４・５日曜日、第１・３日曜日の翌日、第４木曜日、国民の祝日、年末年始、特別整理期間

行　　事　一般対象の講演会
三大子ども会（ひなまつり、たなばた、クリスマス）
子ども映画会　おはなし会（毎週水曜日）

関口３－17－９
☎943-5641
○都バス目白台３丁目徒歩２分
音羽２丁目徒歩７分
○地下鉄有楽町線護国寺駅徒歩７分

分担収集　哲学、心理学、宗教、彫刻、絵画、書道、版画、工芸、諸芸娯楽、外国文学

そ の 他　図書館主催の行事を行うほか、読書会等にご利用いただける多用室があります。
小さなおはなし会が行われる「おはなしのかいだん」は子どもたちの夢の広がる部屋になっています。
体の不自由な方には、車椅子のまま利用できるよう設備を整えてあり、さらに車椅子も用意してあります。また、視力の弱い方のためには、拡大読書器も用意してあります。

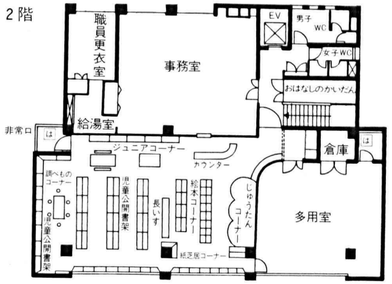


	施設名	床面積㎡	座席数
１階	一般開架式書架	186.63	8
	ブラウジングコーナー	37.40	
	その他	74.78	
２階	児童開架式書架	121.27	18
	多用室	58.23	
	事務室	71.60	
	更衣室	15.92	
	給湯室	10.08	
	その他	61.23	

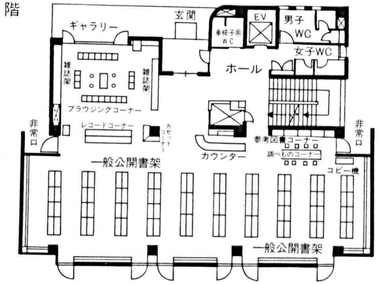
	施設名	床面積㎡	座席数
地階	閉架式書庫	51.20	
	機械室	96.69	
	育成室	95.83	
	その他	63.98	
合計		944.84	26

地階

２階



１階



Ⅶ．図書館部会等活動状況

一般部会

昭和53年２月、鷗外、小石川、本駒込、真砂の４つの図書館の一般奉仕担当が集まり、話し合いをもったのが始まりである。その後、53年４月第一回の一般部会が開かれ、以降毎月定例的に会合をもちいろいろ話し合ってきた。

今まで一般部会では全集目録（文学全集、日本文学個人全集、外国文学個人全集、文学以外の全集）の作成、選書基準の作成、図書館利用促進用パンフレットの作成などを手がけてきた。さらには、資料収集の調整を行なってきたが、図書館が８館になるに及び、仕事量も多くなり、資料分担の検討もあって、一般部会から資料委員会が独立していった。

一般部会では中高生対策にも力を入れている。中学校や高等学校の読書ばなれをしている生徒達に、図書館をもっと利用してもらい、少しでも読書に親しんで欲しいとの願いで地味な活動を続けて来た。文京区内の中学校、高等学校の先生方と会合をもち、相互の要望や問題などを出して話し合いを深めている。そしてその結果をふまえて、中学生向きに「夏休みリスト」を昭和60年度から出すことになった。

夏ごとにテーマを決め、テーマに沿った蔵書をリスト化し、また複本を揃えるなどして、できるだけ多くの中学生に読んでもらえるようにしている。また修学旅行のための準備学習としての資料や、教科で使う資料などを学校を単位として団体貸出も行ってきている。さらに各館では、ジュニアコーナーを設け、工夫をこらし、中学生、高校生が少しでも図書館に親しんで、図書やレコードなどを積極的に利用してくれることを願って活動を進めているところである。

昭和61年４月より部会統合のため、昭和59年より始まった中高生対策部会を吸収して一般部会はあらたに出発した。現在廃棄基準について話し合いを進めている。一般資料や奉仕に関するもろもろの事を検討するなど間口の広い一般部会であるが、毎年、年度初めにその年度の取り組みの内容を決め、定期的な話し合いで具体化を進めている。この部会に限らないが、検討した具体策を生かしてより良いサービスが出来るよう努めている。

児童部会

図書館における児童サービスの一層の充実、発展を図ることを目的として、児童部会を定例的に開催し、業務研究・情報交換・館相互の連絡調整を行うこととし、昭和53年１月に発足した。

発足時から現在までの活動としては、児童図書の「選定基準」「絶版リスト」「フロアワークマニュアル」の作成、また国際児童年に“世界の絵本展”を、国際障害者年には“布の絵本展示”をそれぞれ開催するなど幅広く活動を展開している。

次に、区立小学校との連携を図るための種々な活動がある。まず図書室担当教諭との交流をはかり、図書館と小学校との協力体制を築くための連絡会の実施。長期の休みを利用して、読書に親しみ、図書館に来てもらうことを目的とした「春、夏、冬休みに読む本」のリストの作成。これは小学校を通じて区内全児童に配布しており子供達の間にも定着しつつある。また小学校へ出かけて行う“おはなし会”も年々盛んになってきている。

今後は、館内及び小学校との連携にとどまらず、子供たちをとりまく関連施設の方々と共に、児童奉仕活動に努める方針である。

昭和53年１月　児童連絡会発足
　　９月　区立小学校図書館との連絡会開催（毎年）

昭和54年９月　現代子ども展開催（国際児童年）
　　12月　区立小学校図書館とのブロック会開催（毎年）
　　冬休みに読んでみましょう　リスト作成（毎年）
昭和56年６月　国際障害者年　文京フェスティバルで布の絵本展示
昭和60年２月　文京区立図書館児童図書選定基準、絶版リスト作成
　　児童サービスにおけるフロアワークマニュアル作成

視聴覚部会

文京区では、他区に先駆けて、昭和41年小石川図書館に、レコード・ライブラリーを開設し、積極的にレコード、カセット・テープなどの視聴覚資料の充実を図ってきた。

現在、区内５館（小石川、本駒込、真砂、水道端、目白台）で、収集、貸し出しを行っており、若者に人気のあるサービスとして定着している。

しかし、視聴覚資料は単価が高いため、発売されるレコード、カセット・テープに対して、収集できるタイトル数は少ない。また、図書資料のように、都立中央図書館など、バックアップとなる機関がないため、年々多様化する利用者の幅広い要望に応えるには、資料費を有効に活用することが必要である。

そこで昭和51年度より、購入の調整、相互協力体制の確立を目的に発足したのが、視聴覚部会である。

毎月一回、購入予定のリストを持ち寄り、利用者の希望等を考慮して、各ジャンルの資料をバランスよく収集している。クラシックレコードに関しては、各作曲家の全作品を収集していく方針であるが、発売点数の少ないジャンルをもれなく収集するために、各館の資料傾向等を考慮し、分担で収集している。部会では現在、その分担収集を含め、「選定方針」を検討中である。

視聴覚資料には、図書における「日本十進分類法」のような、分類の基準となるものがなく、各館ごとの分類表に従っているといった状況であった。しかし、音楽そのものが変化してきたこともあり今までの分類を見直し、統一分類表を作成する必要が生じてきた。

そこで、将来オンライン化することも考慮したうえ、昭和60年１月「文京区立図書館視聴覚資料分類件名表」を作成した。

また部会では、昭和60年６月、都内でコンパクト・ディスク（以下ＣＤという）を収集している図書館にアンケート調査を行なうなど、利用者のニューメディアに対する要望や、高まる関心に応えるため、調査、研究を重ねてきた。

このような状況の中で、昭和62年度からＣＤが整備されることとなった。しかし、ニューメディアの進歩は、これで終わりということはない。視聴覚部会は、これからも利用者の要望を的確に把握し更にニューメディアに対する調査、研究を重ねていく考えである。

広報委員会

昭和60年度に実施した「文京区政に関する世論調査」によると、図書館を利用したことがある者約51％に対し、今後利用したい者は約71％であり、20％の潜在利用希望者があった。

図書館をより一層魅力あるものとすると同時に、潜在利用希望者を含む未利用者対策が急務とされてきた。

しかしこれまでの図書館広報は、図書館報の編集、区報掲載原稿の調整、図書館総合案内パンフレット作成など、それぞれ異なる場で行ってきたため、機動性、効率性において十分でなかった。このような状況を踏まえ、検討した結果、昭和61年度から、これらのものを統合し、各館の代表者からなる「広報委員会」を発足することとなった。

昭和61年度は、図書館報100号記念特集号をはじめ、成人式や、講演会などの場を借り図書館ＰＲを行った。

今後も「あらゆる機会を通じてＰＲ」をモットーに積極的に活動していきたい。

資料委員会

1．資料委員会の設置と目的

6地区館と2分館とからなり、中央館を持たない文京区立図書館において、資料を充実し、サービスを向上させるためにはいかなる方策があるかについて、収書保存プロジェクトチーム（昭和55年12月～昭和58年6月）で検討が重ねられた。その最終報告書の中で、各地区館は地域図書館であるとともに、将来開設されるであろう中央館が行う専門的資料や高価な資料、つまり、中央館的資料の収集及び保存機能を分担するシステムであるという方策が提案された。

この提案に基づいて、昭和59年5月に「資料委員会設置運営要綱」制定、中央館的資料の収集、保存、廃棄及び研究を行うことを目的として、資料委員会が設置された。

2．資料委員会の事務

資料委員会は次のような事務を行っている。

(1) 中央館的資料の調査及び研究

各図書館で購入した図書について、地区館・中央館別及び分類別に購入状況を調べ、中央館的資料の把握に努めている。

また、都立中央図書館からの借受一覧を作成し、その借受図書の中から文京区立図書館で所蔵すべき図書を調査している。

(2) 中央館的資料の選定及び調整

各館はそれぞれ担当した分野について中央館的資料を選定し収集するとともに、選定した資料のうち他館担当分野の資料については、毎月開かれる資料選定委員会にはかり、選定調整する。

(3) 中央館的資料の保存及び廃棄

各館の廃棄予定資料について、なお保存すべきものがある場合は、その資料を選定し、分野担当館に所蔵替えし保存を依頼する。その他、資料委員会の目的を達成するために、全集目録の作成、改訂や各種情報の収集などを行っている。

3．中央館的資料各館担当分野

別表一覧表

地域資料委員会（準備会）

区の基本計画に沿って、図書館の施設整備が進み、昭和58年には分館2館を含む8館が設置された。

しかし、それぞれに独自のサービスを展開したが、有機的な結びつきは十分といえなかった。

郷土資料・行政資料についても、歴史的に古い図書館にわずかにあるだけで、区立図書館全体としての収集方針や廃棄基準は持たなかった。

そのような中で、文京区立図書館全体のネットワーク形成をめざして、収集保存ＰＴによる分担収集が提言された。6つの地区館がそれぞれに分野（歴史・社会科学・文学など）を担当し、全館で一つの中央館の役割を果そうという試みである。

ところが、地域資料に関しては未開拓の部分が多く、結論に至らず、将来的なネットワークを考えるために、地域資料委員会準備会が発足した。

ほとんどゼロからのスタートであったため準備会ではまず担当者の養成、地域資料についての基礎的研究に力を入れてきた。

発足当初の一年は、都立中央図書館東京室を始めとし、地域資料に関して先進的と言われる図書館の見学や、区の文化財調査員を講師とした講演会（準備会メンバー対象）など研修を中心に活動した。

2年目以降は、懸案事項となっていた地域資料担当館（中心館）の選定を始めとして、地域資料の収集方針、選定基準の成文化、統一分類表の作成、電算入力マニュアルの作成など具体的な検討を進め、あわせて、地域資料総合目録の追録作業を行ってきた。

なお、昭和62年度から、準備会は正式な地域資料委員会として再スタートする予定である。

障害者サービス検討委員会

文京区立図書館における障害者サービスを充実させるための基本的な考え方と具体的方策を明らかにするために、調査研究を行い、昭和60年3月報告書「図書館における障害者サービス充実に対する調査研究」をまとめた。図書館では、本報告書と文京区全体の障害者施策を策定した「文京区心身障害者施策の基本的方向づけ」を指針として、より積極的に障害者サービスを推進することとなった。

これらを、実現させるための実働部隊として、昭和60年5月障害者サービス検討委員会が発足した。

文京区立図書館における障害者サービスは、昭和48年12月に小石川図書館で視覚障害者へのカセットテープ貸し出しを開始したことが始まりで、その後も後述のとおり充実を行っている。

施設・設備面においては、昭和51年の真砂図書館建設以降、新館建設にあたって障害者対策を図っている。また、それ以前に建設された図書館についても、段階的に、可能なところから改修に努めている。このように、地道ではあるが、サービスの充実に向け努力を重ねてきた。

なお、寝たきりのお年寄りや、障害を持つ方などの自宅へ、図書、レコードなどの資料を届ける「宅配サービス」を昭和62年度の早期にスタートさせるべく、細部の検討を行っている。

今後も「図書館利用に障害のある人々」が障害をもたない人と同等の図書館サービスを受けられるように、障害の種類・程度に応じたきめ細かなサービスの実現に全力を尽くしていきたい。

〈障害者サービスの歩み〉

昭和48年12月	小石川図書館で視覚障害者を対象にカセットテープの郵送貸出開始
昭和55年	水道端図書館にて、ボランティアグループの協力を得て、布の絵本製作及び貸出開始
昭和57年	各図書館で大型活字本購入
昭和59年	本駒込図書館にて聴覚障害者を対象に、字幕スーパー映画上映
昭和60年3月	報告書「図書館における障害者サービス充実に対する調査研究」
昭和61年3月	障害者用カセットテープの貸出受付を各館窓口でも行う
昭和61年10月	障害者用カセットテープの貸出を、視覚障害以外の障害者、寝たきりのお年寄にも拡大

電算委員会

水道端図書館が電算方式で開館するためのシステムを研究した図書館業務プロジェクト（昭和52年6月1日発足）がそもそものはじまりです。昭和53年2月に答申を出して終了し、水道端図書館が電算方式で開館した後、電算部会が発足した。

電算貸出方式の改善点などを話し合い、湯島分館が電算方式で開館するためのシステムの変更なども検討してきた。

湯島分館が開館後は、水道端図書館、湯島分館、情報処理課との事務連絡会も兼ねた形となった。その後目白台図書館の電算方式開館や全館電算化などを含めた、文京区立図書館の電算システムを研究開発する文京区立図書館総合管理電算化研究部会が昭和56年に発足。オンラインシステム、ＴＲＣマーク購入の提案をした答申を出

した。

その後も機種選定や、オンライン中心館の決定、電算化への移行方法などを研究し、昭和57年７月に中間報告を出した。

目白台図書館開館後は、水道端図書館、湯島分館、目白台図書館の３館の事務処理の統一や調整を話し合って来た。

部会そのものの性質上、電算方式によるシステムの改善点、事務処理上の統一、調整などが主な活動の内容である。将来全館がオンラインとしてより良いシステムになるよう実際の問題を出して話し合いをすすめている。

昭和61年度から電算部会を電算委員会に改めるとともに、その中に、専門的技術的なものを扱うシステム改善ＰＴなどを置いている。

文京区立図書館のあり方検討委員会

１．委員会の設置と目的

本区の図書館の現状を見直し、内外の諸条件の克服等を含め、文京区立図書館としての今後のあり方について、具体的方策を検討し、教育局としての図書館運営の指針となるべき報告書を作成することを目的に、60年６月５日に発足した。委員会は、60年度中19回の全体会及び小委員会をもち、61年３月27日に中間報告をまとめた。また、61年度は21回の全体会を開き、61年11月５日、最終報告をまとめた。報告は、教育長、教育委員会、庁議に各々報告した。

２．報告書の主な内容

(1) はじめに……この報告は、「文京区基本計画」の社会教育の項にある図書館施策の具体的実施方法について提案するものである。

(2) 区立図書館の現状と課題……本区立図書館は、貸し出しを中心とする新たなサービス活動を展開することにより、利用の拡大を図ってきたが、運営面ではシステム的にサービスを行うことについて立遅れがみられる。図書館をめぐる社会状況の変化に対応するため、システム的運営が要請されており、この意味で、現在は新たな転換期にある。

(3) 改革の理念と方向……図書館は、区民の生活の変化に対応しつつ、資料・情報センターとして、生涯にわたる学びの場を提供する社会的役割を果たし続ける必要があり、その方向性としては、①さらに身近な図書館に　②より充実した資料・情報センターに　③新たな図書館のシステム形成への３点にまとめられる。

(4) 今求められているサービス……17項目について列挙。これらのサービス実施にあたっては、区民、社会の動向を知り、区民の要望に応えていかなければならない。

(5) 望まれる組織形態……「大規模中央館」の設置とこれまでの地区館からなるシステム。

(6) 当面の組織改革……現在の真砂図書館を「中心館」とし、管理・企画部門の人員を集中し、他の館は、４級かいの地区館とする。実施時期は63年４月が適当。その他、中心館の主な機能、地区館の役割と機能等を列挙。

別表　中央館的資料の各館担当分野一覧

0．総　　記　General works

（図書館，書誌学，百科事典，逐次刊行物，叢書）

000　総　　記
010　図　書　館
020　図書，書誌学
030　百科事典
040　一般論文，講演集
050　逐次刊行物，年鑑
060　学会，団体，研究調査機関
070　ジャーナリズム，新聞
080　叢書，全集
090

➡ 小石川図書館

1．哲　　学　Philosophy

（哲学，心理学，倫理学，宗教）

100　哲　　学
110　哲学各論
120　東洋思想
130　西洋哲学
140　心　理　学
150　倫　理　学
160　宗　　教
170　神　　道
180　仏　　教
190　キリスト教

➡ 目白台図書館

2．歴　　史　History

（歴史，伝記，地理，紀行）

200　歴　　史
210　日　本　史
220　アジア史，東洋史
230　ヨーロッパ史，西洋史
240　アフリカ史
250　北アメリカ史
260　南アメリカ史
270　オセアニア史
280　伝　　記

290　地理，地誌，紀行

⇨ 真砂図書館

⇨ 水道端図書館

3．社会科学　Social sciences

（政治，法律，経済，統計，社会，教育，民俗，軍事）

300　社会科学
310　政　　治
330　経　　済
340　財　　政
350　統　　計
380　風俗習慣，民俗学
390　国防，軍事

320　法　　律
370　教　　育

360　社　　会

⇨ 本駒込図書館

⇨ 小石川図書館

⇨ 水道端図書館

4．自然科学　Natural sciences

（数学，理学，医学）

400　自然科学
410　数　　学
420　物　理　学
430　化　　学
440　天文学，宇宙科学
450　地球科学，地学，地質学
460　生物科学，一般生物学
470　植　物　学
480　動　物　学
490　医学，薬学

➡ 真砂図書館

5．技　　術　Technology

（工学，工業，家政学）

500　技術，工学，工業
510　建設工学，土木工学
520　建　築　学
530　機械工学，原子力工学
540　電気工学，電子工学
550　海洋工学，船舶工学，兵器
560　金属工学，鉱山工学
570　化学工業
580　製造工業
590　家政学，生活科学

⇨ 水道端図書館

6．産　　業　Industry

（農林業，水産業，商業，交通）

600　産　　業
610　農　　業
620　園芸，造園
630　蚕　糸　業
640　畜産業，獣医学
650　林　　業
660　水　産　業
670　商　　業
680　運輸，交通
690　通信事業

➡ 真砂図書館

7．芸　　術　The arts

（美術，音楽，演劇，体育，諸芸，娯楽）

700　芸　　術
710　彫　　刻
720　絵画，書道
730　版　　画
750　工　　芸
790　諸芸，娯楽

740　写真，印刷

760　音楽，舞踊

770　演劇，映画
780　スポーツ，体育

⇨ 目白台図書館

⇨ 水道端図書館

⇨ 小石川図書館

⇨ 本駒込図書館

8．言　　語　Language

800　言　　語
810　日　本　語
820　中国語，東洋の諸言語
830　英　　語
840　ドイツ語
850　フランス語
860　スペイン語
870　イタリア語
880　ロシア語
890　その他の諸言語

➡ 本駒込図書館

9．文　　学　Literature

910　日本文学

900　文　　学
920　　中国文学　東洋文学
930　英米文学
940　ドイツ文学
950　フランス文学
960　スペイン文学
970　イタリア文学
980　ロシア文学
990　その他の諸文学

⇨ 鷗外図書館
⇨ 小石川図書館

⇨ 目白台図書館

K文京0

文京区立小石川図書館
昭和 1988. 8. 29
83108

No. 83108
K文京0

文京区立図書館要覧
（昭和61年版）
昭和62年３月発行
編　集　文京区立図書館広報委員会
発　行　文京区立小石川図書館
文京区小石川５－９－20
ＴＥＬ　814－6745

LIBRARY
OF THE
UNIVERSITY OF
CALIFORNIA
LOS ANGELES